

# 令和元年度第2回ごみ減量化・資源化推進検討委員会 議事要旨

日時 令和元年10月11日（金） 13時30分～16時00分

場所 田川市清掃事務所 2階 会議室

## 1. 開会

(事務局)

【当日配布資料：資源ごみ等処理施設仕様 について説明】

意見なし

## 2. 議題

議題(1) 資源ごみ拠点回収事業について（資料1、2、参考資料1）

(事務局)

【資料1：資源ごみ拠点回収事業について

資料2：資源ごみ拠点回収施設の啓発ポスターの配架等について

参考資料1：資源回収団体奨励金の交付実績等 により説明】

(委員)

私も資源回収を行っており、段ボールは増えているが、新聞紙は大きく減っていると  
感じる。空き缶が対象となれば、回収量が増えるのではないだろうか。

(委員)

交付金額のピークは平成18年度だが、登録団体数及び申請団体数は平成30年度ま  
でほぼ変わらない。大きく変化しているところは、新聞紙の回収量。

そもそも、空き缶は買い取ってもらえるのか。

(事務局)

アルミ缶、スチール缶ともにお金になり、特にアルミ缶は高く売れる。

(委員)

補助金制度を導入する段階で、空き缶を対象にする検討を行ったのか。

(事務局)

推測になるが、以前小学校で空き缶を集め、市が回収・売却をし、その収益を小学校

へ還元する取り組みを行っていたので、補助の対象にしづらかったのではないだろうか。

(会長)

以前はカン太郎というトラックが小学校を回っていた。

古紙類の売却単価は分かるか。

(事務局)

市場の価格となり、上下するがおよそ数円／k g である。

補助金と合わせると、資源回収団体の収入は十数円／k g になる。

(委員)

資料1の回収件数ですが、増加はしているがだんだん頭打ちになっているので、また新たにPRする方法を考えたほうがいいだろう。

(委員)

資料1の搬入実績の中に、市の収入の欄があるが、収入になっているものの金額を教えてください。

(事務局)

主に古紙類になるが、9月末までで約7万円程度である。

(委員)

回収施設は、土曜日でも開けた方が持ち込む人も増えるのではないか。土曜日でも開けてみてはどうだろうか。

(委員)

事務局として、受け入れを行う曜日を決めた経緯等説明をお願いします。

(事務局)

資源ごみの拠点回収を行っている近隣の自治体を参考に、受け入れの曜日を決めた。現時点で、受け入れ曜日を変えるなどは言えないが、今回頂いた意見も参考に、指導員の委託先である、シルバー人材センターとも協議をし、より多くの市民が利用できるよう取り組んでいきたい。

(委員)

現在の利用者に、アンケートを取ってみてはどうか。

(委員)

丸一日開けるのではなく、午前又は午後だけ開けるのもいいと思う。

(委員)

持ち込み件数は増えているが、この中には同じ人が何度も持ち込んでいることも考えられる。

(事務局)

利用者へアンケートを取るという方法は参考にしたい。

また、今回報告した、公共施設や郵便局などへのポスターの配架依頼は、新規利用者を増やすための取り組みのひとつである。

(委員)

市内のスーパーでも、一部資源ごみを回収しており、利用者も多い。そのような場所に、回収施設を宣伝する張り紙をするのはどうだろうか。

(事務局)

今後、スーパー等への周知協力の相談をする。

## 議題(2) 小学校における環境学習の実施概要について (資料 3)

(事務局)

【資料 3 : 小学校における環境学習の実施概要について により説明】

意見なし。

## 議題(3) 段ボールコンポストの販売方法の検討について (資料 4)

(事務局)

【資料 4 : 段ボールコンポストの販売方法の検討について により説明】

(委員)

3. 販売方法等案のNo.6の無償提供の場所は、案1の市役所窓口でもいいのではないかと考えている。そうすれば、無償提供のデメリットもなくなるのでは。

(事務局)

市役所の窓口に来る方が、限定されており、ごみの減量に対する意識が高い方ばかりではないと考えている。段ボールコンポストを広めようというなかで、まず、ごみに対する意識の高い方に段ボールコンポストを普及していくのがいいのではないかと考

えている。

(委員)

段ボールコンポストの基材である、ピートモスともみ殻くん炭は花などの肥料にもなるので、無償提供はあまりよくないのではないだろうか。

無償提供するならば、段ボールコンポストを公民館単位で実施し、講習会を実施した公民館のみで無償提供を行うのはどうだろうか。講習会参加者同士で、情報交換ができ不正に使用することも防ぐことができる。

(委員)

西平松公民館で講習会を実施し、市から段ボールコンポストを無償提供してもらった。それ以降、参加者は2回目、3回目と継続して段ボールコンポストを使用している。もっと早く知りたかったという声もよく聞く。しかし、公民館がない地域もあるため、無償提供は公民館以外でも行う方がいいのではないだろうか。

(委員)

まず使い方を知り、実践しないと良さが分からないと思う。そして、出来上がった堆肥を、何かと交換する制度があると、段ボールコンポストを継続して使ってもらえると思う。

現在、小学校の環境学習でも段ボールコンポストを行っているが、自分たちの手で作業を行い、変化を実感している。しかし、学年によって、出来具合に差がみられ、小学1年生より小学2年生の方がうまく堆肥が出来ている印象である。

(会長)

今後、小学生以下の子どもへの環境学習も検討予定だが、それは難しいということになるのか。

(委員)

園児や低学年は、父兄も一緒にできるといいかもしれない。

(委員)

低学年でごみの分別の学習をし、高学年で段ボールコンポストをする方が学習の効果があるのでは。

また、講習会を受講した西平松区の方から、段ボールコンポストでできた堆肥の使い道がないと言われた。市で堆肥を回収すべき。

(委員)

回収した堆肥を、市が行っている緑化事業に使うのもいい。

(委員)

できた堆肥と新しい基材を無償で交換するのもいい。

(副会長)

資料4の2ページの表のNo.3、No.6のデメリットの最後の文言は、「できない」ではなく「困難」と記載する方が適当だろう。

#### 議題(4) 田川市のごみ減量化・資源化に関する提言(案)について(資料5)

(事務局)

**【資料5：田川市のごみ減量化・資源化に関する提言(案)を項目ごとに検討】**

##### 1 はじめに

(会長)

全体的に少し短くしてほしい。

##### 2 資源ごみ拠点回収の現状と課題

(会長)

ごみ排出量の実績年度の間隔が近いので、2～5年間隔に変更し、傾向が見えるようにした方がよい。

(委員)

(2)の最後の2行について、市民が利用しやすい場所の整備の部分をもう少し強調してほしい。

(委員)

リサイクル率が減少し、市民意識が低下していると記載されているが、現在上昇しているという記載をし、意識が変わっていると思う内容にしてほしい。

##### 3 段ボールコンポストについて

(事務局)

販売方法の検討については、資料4のNo.1、No.6を組み合わせ、販売もしながら交換を行う方法を今後検討していきたい。

#### 4 小学校等における環境学習について

(会長)

議題(3)で意見が出たように、環境学習による意識変化は、年齢によって効果のあるテーマが異なるため、(2)の3段落目の内容を少しぼやかした方がいい。

#### 5 啓発活動、6 ごみ減量化・資源化の施策等の点検等

意見無し。

#### 7 おわりに

(会長)

2段落1行目から、取組み事例が挙げられているが少し多いので、「学校給食の～」を削除してはどうか。

(委員)

3段落目にマイクロプラスチックの関係で、レジ袋の有料化について記載があるが、この二つに直接的な関係はないと思うので、削除が可能であれば削除してほしい。

(委員)

先日、海岸清掃ボランティアに参加した際、海岸に落ちているレジ袋が多かったので、「レジ袋」または「マイバック」について記載をしてほしい。

#### 議題(5) その他

(事務局)

次回の開催は、1月を予定。

### 3. 閉会